

第18回 ミナミ活性化協議会代表者会議 共同アピール

われわれ、ミナミ活性化協議会は、平成17年の設立から、地元・行政・経済界が連携したオール大阪体制を確立し、大阪ミナミの環境浄化と美化を推進するとともに、健全で魅力あふれるまちづくりを進めるなど、誰もが安全で安心して楽しめるミナミの実現に向けて多くの対策を推進してきた。

その結果、ミナミは、大阪だけでなく日本の玄関口として、国内外から多数の観光客が訪れる、まさに世界を惹きつける魅力あふれるまちとなった。

これはミナミのまちづくりに携わる多くの人たちが、伝統・文化・環境を守りつつ、社会経済情勢にも対応して、まちの安全・安心の維持向上、魅力の創出・発信にたゆみなく取り組んできた賜物である。

新型コロナウイルスの影響を受けながらも尽力してきた結果、ミナミの街は少しずつ活気を取り戻しているが、さらに感染症に強いまち、世界に誇れる安全・安心かつ明るく楽しい活気あふれるミナミの街を一層実現させていくとともに、2025年大阪・関西万博に向けて、世界中から注目が集まり、再び多くの来訪者・観光客が見込まれる中、ミナミを訪れる全ての人々が「ミナミに来てよかった」と思えるよう、「みんなでつくろう ええ街ミナミ」を合言葉に、総意・総力で次の2点を目標に掲げて、より一層取組を推進することとした。

一、 『安全・安心かつ明るく楽しく人気ある快適なまちの実現に向けて』

悪質・巧妙化する客引きの指導・取締りの強化に加えて、客引きを利用しないための来訪者への広報啓発などの対策や、各種犯罪対策、放置自転車対策を推進するとともに、違法店舗の排除や客引きを活用する店舗の根絶など、ビルの健全化に向けた対策を継続するなど、まちの環境浄化に根底から取り組み、安全・安心かつ明るく快適に楽しめる人気の高いまちづくりを推進する。

一、 『魅力とにぎわいのあふれるまちの実現に向けて』

大阪・関西万博を見据えて、人情味とおもてなしの心にあふれ、食や文化が融合するミナミの魅力に誇りをもち、地元へ愛され、更には世界から注目され続ける持続可能な観光地作りとおもてなしを改めて充実させるとともに、ミナミの新たなシンボルとして、人中心の居心地良く安心感にあふれた「なんば駅前広場」「御堂筋の歩行者空間」を創出するため、地元・行政・経済界が一体となり、世界を惹きつける魅力とにぎわいあふれるまちづくりを推進する。

令和5年1月30日

【ミナミ活性化協議会】

大阪府知事	吉村 洋文
大阪市長	松井 一郎
大阪府警察本部長	野村 護
ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会会長	岡本 敏嗣
ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会発起人	福長 徳治
大阪商工会議所会頭	鳥井 信吾
一般社団法人関西経済同友会代表幹事	生駒 京子

～賛同団体～

ミナミまち育てネットワーク

公益社団法人関西経済連合会

公益財団法人大阪観光局